作者： Administrator
2016年 12月 01日(木曜日) 00:00 - 最終更新 2016年 12月 28日(水曜日) 16:33

会長便り

北光会の更なる活性化を期待する

鈴　木　　功（MS40）

昨年５月末に会長就任後，１年が経過しました。ご存知の様に，北光会は理工学部と国際資源学部の２学部に分かれ，鉱山という名前が無くなりました。しかし鉱山が無くなった訳ではありません。国際資源学部が示すように世界に目を転じての活躍が期待される訳です。世界の資源を独り占めしようとしている中国を向こうに回して，世界と協調を取りながら資源を有効活用する国際協調による考えが求められます。

北光会では，会員の更なる活躍を期待して「クラス幹事制度」を本格的に立ち上げました。これは４年前から卒業時に任命して北光会の活性化を図って来ましたが，今年の５月から，昭和34年卒迄さかのぼってクラス幹事のお願いをしています。一部にはクラス幹事を辞退された方もいまして，順調に進んでいるとは言いがたいですが，概ね良い方向に推移しています。

小生が東海・北陸支部長就任時に始めた「東海地区と北陸地区の交流会」は今年で何と９年連続となり，7/１（金）に宇奈月温泉にて16人が一堂に会して夜の更けるのも忘れて歓談したのでありました。中にはクラス幹事を引き受けて頂いた方や何と遠く広島から来られた方もいて，大いに交流会が盛り上がった次第であります。7/３(日)は関西支部総会がありました。今迄は若干参加者が少なく盛り上がりがイマイチでしたが，今回は関西支部事務局の献身的な努力により，何と新しく参加された方，クラス幹事を引き受けて頂いた方，若い方も多く，総勢28名の参加者で盛り上がりました。今後の北光会の活性化が期待できる支部総会でありました。北光会の行事に参加して良い思い出を作ることも，活性化の一つであります。

クラス幹事制度の目的は，クラス幹事を中心に，ゴルフやテニス・ハイキング，更には技術的な問題解決のためにクラスの方々が集まりお互いが話し合うことであります。一人では解決しない問題もクラスの方々が集まり，話し合うことにより，良い方向に持ってゆくことが出来ます。このクラス幹事制度が定着し，発展してゆくことが，結果的には北光会が活性化することでもあります。

その前にもう一つ「北光会技術相談システム」を平成26年に立ち上げています。仕事を進めてゆくと必ず，課題にぶつかります。その課題を解決する手段として，このシステムを利用して頂きたいと考えています。ただ，最近このシステムを利用する方が少ないようです。北光会の中にも，優れた技術者がたくさんおりますので，大いに活用して頂きたいと考えます。

世界に目を転ずると，各地で殺人事件等が起こり，其のためにも移民の制限や，ヨーロッパが分裂？するなど険しくなってきています。また，ブラジルでオリンピックが開催され，そして４年後には日本で２度目のオリンピックが開催されます。最近，日本に来る外国人は今年が２千万人であり，２年前の２倍になる様です。何処の観光地も外国人で一杯です。その余波が秋田にも及んでいます。秋田北部の鷹巣と武家屋敷のある角館を結ぶ内陸縦貫鉄道も沢山の観光客が押し寄せてきている様子であり，嬉しい限りです。大いに秋田をＰＲするチャンスでもあります。リニア新幹線も愈々現実味を帯びてきました。小生が会社に入った50年前にリニアモータの基礎研究をしていました。これが実用化されるのかなあと思いつつ研究者達と会話したことを思い出します。電気自動車はもう当たり前の様に走っています。燃料電池車も出現しようとしています。

技術は日進月歩です。いやがうえにも加速されつつあります。仕事もそして遊びも北光会を通じて人生を豊かに歩んで頂くことを祈念致します。